

意見の要旨と区の方考え方

番号	意見（要旨）	区の方考え方
第1章 経営方針策定にあたって		
3. 計画期間		
1	計画期間5年は長すぎると感じる。長期方針として5～8年を掲げ、計画期間は3年が良いところでは。短い期間で成果を出し、それを反映する新しいサイクルを作って頂きたい。	経営方針に基づく具体的な取組（事業）は、別途、サービス計画を作成し実施してまいります。また、サービス計画の進捗や達成状況等については、毎年度評価し、翌年度の計画作成に反映します。
第2章 目指すべき図書館像		
2. 経営方針の骨格		
2	「江東区立図書館のあり方検討」の3つの柱が経営方針の骨格でよいのか。	目指すべき図書館像の3つの柱に加え、情報発信を強化を重点項目に位置づけ、26の取組を推進することで、図書館サービスの向上を図ります。
第3章 目指すべき図書館像の実現に向けた取組		
柱1 利用しやすい図書館		
1 図書館環境の整備		
3	常に閲覧席が満席に近い図書館は、勉強する児童・生徒向けに放課後や週末に区立の小中学校の図書室の開放などの方法で解消できると思う。	放課後や週末における児童・生徒への学校図書室の開放については、管理運営や防犯上の課題が多いことから実施が困難です。閲覧席の適正利用の呼びかけを強化するなど、混雑解消に努めてまいります。
4	有明地区など南部地域に図書館を新設するかサービスコーナー等を設置してほしい。【計2件】	現在、有明地区を含めた南部地域における図書館の整備計画はありませんが、今後、人口動向や区民ニーズ及び土地の開発状況等を注視してまいります。
5	オンラインデータベースは、図書館へ出向く必要がある。自宅からも利用できるようにすると利便性があがる。	オンラインデータベースはIDの管理等が必要であるため、図書館内のみでのサービスとしていますが、具体的な活用方法の周知を図る等、効果的な利用促進に努めてまいります。
6	カフェ併設の図書館など、居場所機能を充実させてほしい。	利用者ニーズや費用対効果、各図書館の施設環境等を踏まえ、多くの方々に利用したいと感じていただけるよう、居心地のいい図書館づくりを目指します。
7	来館難民への支援として移動図書館を充実してほしい。	全館の図書資料等について、希望する館での貸出・返却が可能となっており、移動図書館を実施する予定はありませんが、ICT技術等を活用した非来館型のサービスについて検討してまいります。
8	学生の専用席と、一般利用者の席をわけてほしい。また、パソコン利用ができる席を設けてほしい。	各図書館の施設環境等を踏まえ、目的に応じた利用ニーズに応えられるよう、館内環境の工夫に努めます。

9	図書館から離れた地域でも本の受取と返却ができるように、「図書館出張所」を図書館から離れた地域に何箇所か設けてほしい。	図書館機能の新たな整備計画はありませんが、今後、人口動向や区民ニーズ及び土地の開発状況等を注視してまいります。
2 図書館システムの充実		
10	OPACの分類検索の拡充やOPAC絞込に閉架条件追加など、利便性向上を図っていただきたい。	ニーズ等を踏まえ、操作性向上に向けた、システム改善に努めます。
11	他区・都立・国会・大学から借りる図書もネット予約の対象とすることで利便性が上がると思う。	関係機関と連携し、サービス向上につながる取組みを検討していきます。
3 人材育成の推進		
12	人材育成を推進するのであれば、図書館司書の配備と図書館担当者の配置転換の長期化を図って頂きたい。	司書の適正配置と、職員のスキルアップにより、サービス向上に努めます。また、職員の異動に対応すべくノウハウの継承を確実にを行います。
6 高校生等への取組		
13	ヤングアダルトサービスに力を入れてほしい。	本方針のほか、江東区こども読書活動推進計画のもと、読書離れが進むYA世代の読書への動機づけ等の取組を推進します。
柱2 生涯学習を支援する図書館		
1.1 資料の充実		
14	一般書から専門書まで幅広く資料を充実させてほしい。【計6件】	体系的な蔵書構成に留意しつつ、一般書から専門書まで多様な資料の蔵書を目指します。
15	選書と廃棄の基準を見直し、明確化してほしい。【計2件】	公共図書館として、多様な資料の蔵書構成を目指し、適正な選書と除籍を引き続き行っていきます。
1.2 レファレンスサービスの充実		
16	司書の配置を増やし、レファレンスサービスを充実させてほしい。【計4件】	職員の能力向上と司書の適正配置を図り、レファレンスサービスの向上を目指します。
1.3 オンラインデータベースの利用促進		
17	オンラインデータベースの存在や利用方法が浸透していないので、利用者が少ないと感じる。	積極的な情報発信により認知度向上を図ります。
1.4 電子書籍サービス導入の検討		
18	電子書籍サービスを導入してほしい。新型コロナウイルス緊急事態宣言により図書館が休館となったが、住民サービスへの影響をより抑えることができたのではないか。【計3件】	電子書籍サービスの導入については、ニーズや費用対効果等を見極めながら導入の検討をします。
19	資料の充実には限度があるので、ICTを活用して電子文書で利用できるものを多用するのも手段ではないか。	電子書籍サービスの導入については、ニーズや費用対効果等を見極めながら導入の検討をします。
1.5 ボランティアの活動の推進		

20	様々な分野の専門知識を持つ区民がいるので、司書が参考意見を求めるための、ボランティアの「レファレンス相談員(仮称)」制度を設けてはどうか。	読書活動推進に資する新たなボランティアの活用について検討してまいります。
1 6 大学連携の充実		
21	大学によって収集・収蔵している資料の分野が異なるので、それがホームページなどで分かれば便利である。	大学が収集・収蔵している資料については多岐にわたるため、区立図書館ホームページで取り扱う予定はありませんが、大学連携に関する情報提供等、ホームページの充実を図ってまいります。
22	区外・都外の大学との連携については記載しないのか。	地域情報発信の拠点として、区内大学との連携強化を図るとともに、区外大学との連携も検討してまいります。
1 7 多様な学習機会と本を通じた交流の形成		
23	世代問わず、ほしい情報にアクセスして知的活動を行える場としての位置づけという考えから、蔵書資料の利用にかかわらず、知的活動をサポートする場であってほしい。	生涯学習施設として、区民の学びを支えるため、多様な学習機会の提供に取り組みます。
24	活躍の場は図書館の機能ではない。区民センターのようなものに任せるべき。	生涯学習施設として、区民の学びや活躍の場としての機能も図書館に求められていると認識しております。
25	生涯学習の支援策として、各種研究論文のダウンロードサイトと区で契約し、図書館内で出力できる仕組みがあるとありがたい。	利用者ニーズや費用対効果を踏まえつつ、事業の実現性について検討してまいります。
1 8 展示の充実		
26	地域拠点として、行政情報ニュースなど貼付、掲示、設置の活用を積極的に一部常用スペース化して世の動きを報道する視点を期待する。	地域の情報拠点として、情報発信の強化に努めます。
柱 3 地域に根差した図書館		
1 9 郷土資料の収集・活用の推進		
27	郷土資料の収集について、江東区在住者で本を執筆している人が増えているので、それらの書籍が郷土資料として収蔵されていると良いのではないかと。	郷土資料としては、郷土史や地域行政資料を中心に収集しておりますが、江東区に縁がある人物の著作等についても、引き続き積極的に収集してまいります。
2 0 貴重資料の保存・活用の推進		
28	深川図書館の、戦前本などの貴重な資料をデジタル化して公開してほしい。また閉架資料のテーマ別公開等も検討してほしい。	貴重資料については保存・公開方法等や資料を有効活用について検討してまいります。
2 2 特色ある図書館サービスの展開		
29	大学生や若い社会人が、より専門性の高い知識を得ることができる図書館にしてほしい。そのために、各図書館で得意とする専門分野を決めて、その図書館にその専門分野の書籍を集中させてほしい。	図書館全体としての蔵書構成に留意しつつ、各館の地域性等を活かした特徴ある蔵書を目指します。

30	課題解決の担い手は、区民相談の部署に任せればいいのか。	地域の情報拠点として、区民の課題解決の場としての機能も図書館に求められていると認識しております。
2 3 区民や地域、区内公共施設等との連携強化		
31	時代の変化や地域の特性に合った生涯教育の核となる活動を推進してほしい。また、それを実現するための企画立案と実施、情報発信が出来るボランティア組織（地域住民・有識者）作りに取り組んでほしい。	ボランティア団体や地域関係施設等と連携し、時代の潮流や地域の実情に合わせた取組を推進するとともに、読書活動推進に資する新たなボランティアの活用について検討してまいります。
3つの柱を支える重点項目		
2 5 ICTの活用		
32	SNSでの情報発信が現状では全くないので、専任の担当者を置いていただきたい。	SNSなどを活用し、タイムリーな情報発信に取り組みます。
2 6 多様な情報の提供		
33	受動的なサービスから脱却し、学びのプロモーションHUBと位置付けた新たな存在としての図書館を目指してほしい。	「情報発信の強化」を重点項目に位置づけ、積極的な発信に努めます。
第4章 取組の推進		
1. サービス計画の策定		
34	サービス計画の策定について、計画及び年度終了後の結果の評価はどのように広報されるのか明記した方がわかりやすい。	サービス計画の進捗についてホームページにて公表いたします。より効果的な広報になるよう、今後も検討を続けます。
2. 区民の声の反映		
35	区民の声の反映について、聞く場を設けるだけでなく、意見・問い合わせ及びその回答を公表するシステムをつくり、それらに対する評価・批判を経営方針に反映する仕組みが必要ではないか。	利用者アンケート結果について図書館広報誌等で公表するとともに、日々の図書館運営や図書館への手紙等でいただいたご意見はサービス計画への反映を検討します。また、サービス計画の進捗についてホームページで公表いたします。
方針全般に対するご意見		
36	経営方針から具体策が見えず、また特徴がつかめない。【計2件】	経営方針は今後の取組の方向性を示す指針であり、具体的な取組（事業）は、別途、サービス計画を作成し実施してまいります。
37	最後に用語解説のページを設けたり、ページ等の最後に注釈を記載して、区民等が理解しやすい構成にしてほしい。	理解のしやすさに配慮し、用語解説や資料編を記載いたします。
その他		
38	指定管理者制度の導入は反対である。「知」の最低保証たる図書館運営は自治体が直接やるべき。	民間のノウハウを活かしたサービスを提供するとともに、区との連携・協力体制のもと、さらなるサービス向上に努めてまいります。

39	コロナ禍にあつて、利用者を増やす取組みとして、館外活動を行うことは難しいと思う。大人数が集まらずにできることを考えていくべきである。	新しい生活様式の状況下における効果的な事業を検討してまいります。
40	保護者がゆっくりと本が読めるように、子ども預かりサービスの実施を希望する。	利用者ニーズや費用対効果、各図書館の施設環境等を踏まえ、様々な利用者が快適に利用できる環境整備の手段を検討してまいります。
41	予約資料の準備や他区からの取り寄せなどを素早く行い、図書を手にしやすい環境に努めてほしい。【計2件】	業務の効率化に努め、迅速で満足いただけるサービスの提供を目指します。
42	書誌は現在の簡易な「内容紹介」に加えて『目次』を表示してもらえると内容の見極めができ、無用な予約を減らすことができるので対応してほしい。	書誌情報は専門業者が作成するデータを元に作成するため、資料によって目次等が表示されないものもありますが、レファレンスや資料紹介の推進を図り、資料を探しやすい環境を整備してまいります。
43	書籍・AV等の個別の利用上限を設けず、複数項目を合わせた利用上限を設定する図書館が増えているようである。個別上限に縛られず各メディアの利用状況がわかるので、上限統合化検討をお願いしたい。	利用上限につきましては、利用者ニーズや利用状況等、他自治体の取組も参考にしつつ、その在り方について検討してまいります。
44	他区で英語多読用資料がコーナー化されているのを見た。江東区でも検討してほしい。	魅力的なイベントや展示について積極的に企画してまいります。
45	視聴覚資料の相互貸借など、他区との相互利用を便利にしてほしい。【計2件】	利用者の利便性向上に向けて、引き続き他区と連携を図っていきます。
46	指定管理者の管理・指導・賞罰に力を入れてください。	指定管理者との連携・協力、助言・指導等により、引き続き適正かつ効率的な運営に努めていきます。
47	現在、蔵書のない本はカードに手書きでリクエストする仕組みになっていますが、オンラインでできるようにしてほしい。	各種手続きについても、利用者の利便性向上に向け改善への検討を進めます。